

注意

マンション・アパートにお住いの皆様へ

注意

1日に約29件 誰かの家で 火事が起きています!

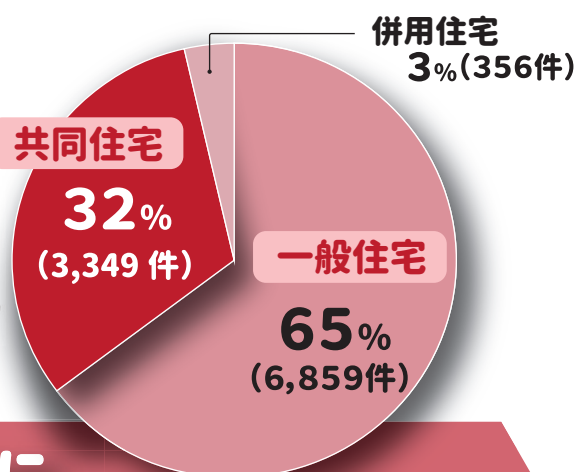
1年間の住宅火災件数

10,564 件

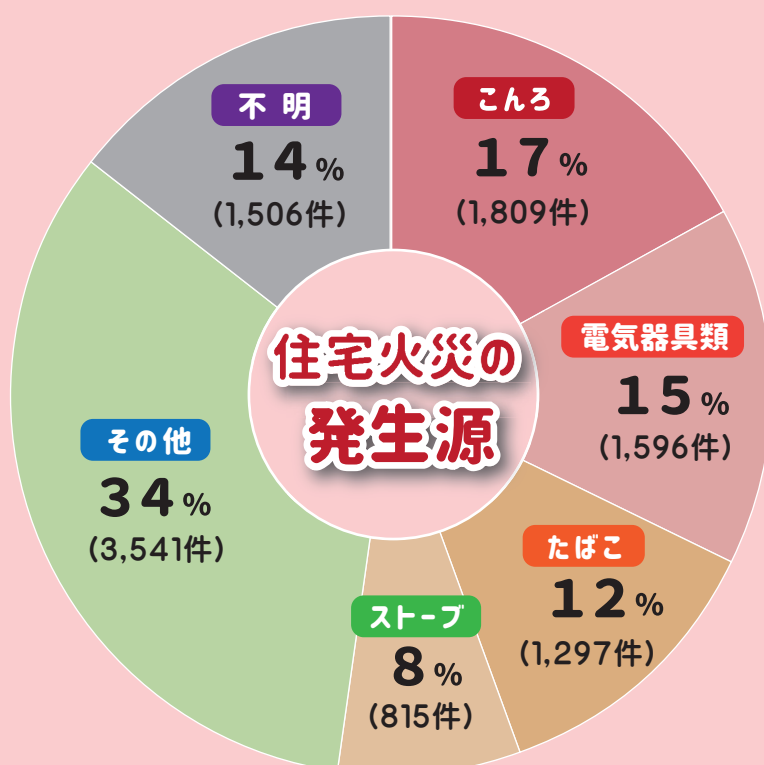


住宅火災の死者数 899人 (放火自殺者等を除く)

出典：令和2年における火災の状況 総務省消防庁 (全国値)



火災を防ぐために



就寝時の火災は命の危険!

就寝中は火災に気づきにくいので、避難などが遅れて命の危険があります。就寝時は絶対に「ストーブを消す」、「寝たばこをしない」を徹底しましょう。



実は石油ストーブよりも電気ストーブによる出火が多いです!

こんろ火災を防ぐための4か条

- ①調理中は絶対にその場を離れない
- ②離れるときは火を消す
- ③着衣着火に注意
- ④こんろの周りに燃える物は置かない



あなたのモバイルバッテリーは大丈夫?

いろいろな電気製品に使われている「リチウムイオン電池」からの出火が増えています。

- ☐ ストーブの近くや直射日光が当たる場所等に放置しない
- ☐ 強い衝撃を与えない
- ☐ 指定された充電機以外は使用しない
- ☐ 膨張、異臭、発熱等の異常があれば使用をやめる

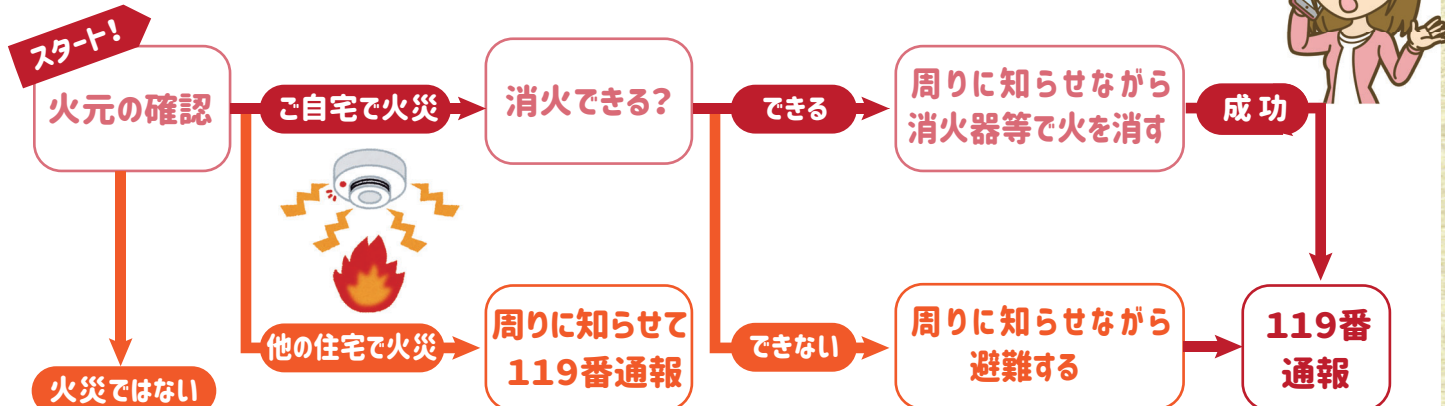
大崎地域広域行政事務組合消防本部

火災が起きたら



もしも火災警報器（音声やベル・サイレン音）が鳴ったら…

まずは落ち着いて火災かどうかを確認しましょう！



※このフローチャートは一般的な例です。消防訓練に参加して実際の動きを覚えることが大切です。

消火する

ご自身の住戸から最も近い消火器の場所と
使い方を確認しておきましょう！

消火できるかどうかは
「煙が充満していないか(火元が確認できるか)」、
「炎が自分の背丈よりも小さいかどうか」を目
安に判断しましょう。

周りに知らせる



大きな声で「火事だー」
と叫びましょう。気付
いた家族や近隣住民
に消火や通報の協力
を依頼します。

避難する

火災の拡大を防ぐために避難後は玄関の
扉を閉めましょう。

玄関からの避難が難しい場合は、バルコニー
の隔て板を蹴り壊して隣の住戸から避難する
か、避難器具が設置されていれば使用して
避難します。

地上まで避難できない場合は、煙を避け
られる場所で助けを呼びます。

119番通報する

落ち着いて「火事であること」、「建物住所」、
「近くの目標」、「火災の状況」などを伝え
ましょう。

ワン
ポイント

バルコニーは火災時に有効
な避難経路(避難場所)と
なりますので、日ごろから不要
なものを置かないようにしま
しょう。

火災を防ぐための防火・防災製品

防災品

燃えにくい加工が施されたもので、カー
テンやブラインド、じゅうたん、寝具など
様々な商品があり、火災の拡大を抑える
ことが出来ます。(11階建て以上の建物
で使用するカーテンは防災品を使用する
ことが消防法で定められています。)



センサー付きガスコンロ

平成20年4月以降に製造されたガスコンロ
には、「Siセンサー(調理油の過熱防止や
煮こぼれ時・一定時間経過後に自動的に
ガスを止める機能)」が付いています。こ
のセンサーが付いていないコンロを使用し
ている場合には、交換をお勧めします。



問い合わせやご相談は最寄りの消防署にご連絡ください。

古川消防署 22-2350

鳴子消防署 82-2349

加美消防署 63-2003

遠田消防署 43-2351

大崎地域広域行政事務組合消防本部

予防課 24-4268